

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
企画 イースタンコミュニケーションズ
印刷 東兄弟印刷所 TEL 0943-24-2111
八女市祈祷院 5 6 3 〒834-0025
HP : www.wing8.com/dcity-yame/

「クラッシー」は毎月発行します。紹介したい地域の行事や趣味のサークル、愉快的仲間達その他読者を楽しくさせ、元気づけ人や社会のお役に立つ原稿を募集します。

5 MAY

	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
6	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	28	27	28	29	30		

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1 3月29日 先勝 大	2 30日 友引 大 献茶祭 (黒木町)	3 4月1日 仏滅 大 憲法記念の日	4 2日 大安 大 みどりの日	5 3日 赤口 中 こどもの日 松尾弁財天縁日 (立花町) 山内水天宮花火大会 (八女市山内)	6 4日 先勝 中 なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館)	7 5日 友引 中
8 6日 先負 中 べんがらの日 (べんがら村)	9 7日 仏滅 小	10 8日 大安 小	11 9日 赤口 小 なんでも人権相談所 (立花市民センター) (サンコア)	12 10日 先勝 長	13 11日 友引 若 なんでも人権相談所 (黒木地域交流センター)	14 12日 先負 中 矢部村山系山開き (矢部村) 緋の里巡り in 筑後 (筑後市) ~15日
15 13日 仏滅 中 瀬戸内・しまなみ海道ウォーク ~16日 (八女歩こう会)	16 14日 大安 大	17 15日 赤口 大	18 16日 先勝 大 社会保険個別相談会 10:00~15:00 (八女商工会議所) 要予約 0942-33-6192	19 17日 友引 大 なんでも人権相談所 (広川町はなやぎの里)	20 18日 先負 中 定例法律相談会 (要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所) ☎22-5161	21 19日 仏滅 中
22 20日 大安 中 滝の宮不動尊縁日 (上陽町) 工業団地パークウォーク (吉田ウオーキングクラブ)	23 21日 赤口 中	24 22日 先勝 小	25 23日 友引 小 不動産に関する何でも相談会 13:00~15:00 (八女商工会議所)	26 24日 先負 小 お風呂の日 (べんがら村) (グリーンピア八女) (温泉館きらら) (三加和温泉)	27 25日 仏滅 長	28 26日 大安 若 人生史サークル黄檗の会 (八女福祉会館) 星の新茶・サツキまつり (星野村) ~29日
29 27日 赤口 中	30 28日 先勝 中	31 29日 友引 大	心配ごと相談 (八女市) 八女市社会福祉会館 5月18日 黒木町ふじの里 5月18日 上陽町地域福祉センター 5月11日・25日 立花町かがやき 5月11日・25日 法律相談 (要予約) 八女市社会福祉会館 5月13日 黒木町ふじの里 5月20日 上陽町地域福祉センター 5月27日 司法書士相談 黒木町ふじの里 5月13日 八女市社会福祉会館 5月20日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日／総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日／筑後市立病院 くろぎふるさと日曜市 毎週日曜日 上陽ふるさと市 毎週土曜日 読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎週土曜日 午後2時~ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第2土曜日 午前11時~ 赤ちゃん読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎月第3水曜日 午前11時~ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第4木曜日 午前11時~			

東日本大震災のあいつぐ衝撃的なニュースに花の四月も心痛く過ぎ、早や青葉風吹く五月を迎える。▼連日の震災報道のなかで、もっとも注目のな被害を受けた三陸沖沿岸の中で、岩手県北部の普代村を高さ15・5メートルを超え防潮堤と水門が守ったという記事であった。防潮堤全長は205メートル。この設定に当時の和村幸得村長(故人)の主張には当初批判を浴びたが、明治29年の大津波を伝える古老の話が村長の頭から離れなかった。それ故にこの防災計画を押し通した結果が多くの村民を救ったというのである。▼さて、統一地方選挙も終わった。それぞれの公約に政治生命を賭けての健闘を、新知事はじめ各議員さん方に期待しながら思うのは未来を見通した先見性その根幹に歴史的な文化の伝承、「温故知新」の精神を。▼「幽玄」「玄妙」の画聖と讃えられる坂本繁二郎画伯は、欧州留学から帰国後、アトリエを八女緒玉の地に選ばれた。当時49歳の画伯の眼になにがとまったのか。この八女の風土には春夏秋冬、真の自然があるとの見地に立脚されたと美術評論家の谷口治達さんは論述している。新たな八女・奥八女の地に風薫る色どりを描く事を考える五月である。

天宮ふんより
風薫る色どりを
考える五月
詩人 推窓 猛